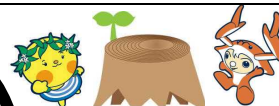




ひこばえの心



第7号 R4.7.20

文責：校長 渡邊豊彦

学校教育目標：ひこばえの心もち、強く・かしく・美しく 生きる子どもの育成を図る

☆昨日の朝は大雨の中、子どもたちを無事に送っていただき、本当にありがとうございました！

◎意義のある楽しい夏休みを

1学期が終わりました。今学期もコロナ禍にあって、活動が制限あるいは縮小されるケースもありましたが、予定した学校行事は7月の授業参観を除いては、ほぼ計画通りに実施することができました。これもひとえに保護者の皆様方の温かいご理解とご協力によるものです。本当にありがとうございました。

夏休み



さていよいよ明日から、子どもたちが待ちに待った夏休みです。真っ青な空、白い入道雲、じりじりと照りつける太陽、そしてあちこちで鳴り響くセミの声…。いつの時代も、自由な時間がたっぷりある夏休みは、子どもたちにとっては夢のような期間です。(保護者さんにとってはなかなか大変な面もあると思いますが。)自然とふれあったり、何かを研究したり、作品を作ったり、苦手な教科を復習したりと、普段ではなかなかできない体験や学習にぜひ取り組んでほしいと思います。

一方で、開放的な気分になりやすいことから、事故やトラブルに巻き込まれる心配も出てきます。また、生活のリズムが乱れたり、約束が守れなかったりすることもありがちなことです。学校から配布した「夏休みの生活心得」をもとに、お子さんと話し合い、約束事の確認をお願いいたします。初めに「今年の夏休みは〇〇に取り組む！」と目標を立て、計画的に進めていくことが大切です。夏の間がんばれたという手ごたえは、根拠のある自信になり、2学期につながります。保護者の方にサポートしていただきながら、充実した夏休みを過ごせますようよろしくお願いいたします。

◎通知表の見方について

本日、通知表を配布しました。

「よくできる◎ できる○ がんばろう△」は観点別の絶対評価です。



①学習目標に対して、一人ひとりの達成度を見る「目標に準拠した評価」を行っています。(他人と比較するようなものではありません。)

②子どもたち一人ひとりの学習状況を「知識・技能」(何を理解しているか・

何ができるか)「思考・判断・表現」(理解していること・できることをどう使うか)「主体的に粘り強く学習に取り組む態度」の観点で評価しています。

③「よくできる◎」は「目標を十分に達成し、さらに発展的にできている」状態です。

「できる○」は「目標をほぼ達成している、おおむね満足できる」状態です。

「がんばろう△」は「もう少し努力すると目標に達する」という状態で、できないというものではありません。ましてや決して叱る材料でもありません。教師も次の手立てを考えています。

※通知表が「痛知表」にならないよう、お子さんを褒めたり認めたり、さらには励ましたりするためのものとして取り扱ってください。

◎入賞おめでとう

○ヤング川柳 (西日本新聞社)

7/2付「長い」 次点「五年間 せみがねている 土の中」 4年 大江聡真

7/9付「ぎらぎら」 二席「みんなより さいきょうの目をもってるよ」 3年 大鋸伶於

○県河川愛護ポスターコンクール 入選 2年：北島優之 2年：小山歩夢

○校内多読賞

1位 5年：岩崎楓果 (118冊) 2位 5年：田代陽夏 (115冊) 3位 5年：林 璃乃 (113冊)



5日(金) 全校登校日・平和集会(※午前中で下校)
 10日(水)～17日(水) 学校閉庁日
 26日(金) 2学期始業式・地区児童会(※給食なし)
 29日(月) 委員会活動 給食開始 9月10日(土) PTA親子除草作業

◎7.8災害祈念集会



昨年度までは、60年前のこの災害を実際に体験された方々のお話を聞いておりましたが、本年度は自衛隊佐賀地方本部・武雄地域事務所長さん他4名の方々を招聘して、『もし、太良町(大浦)で災害が起きてしまったら』というテーマで、講話と実技体験をしていただきました。講話の中では、



(事務所長さんの講話)

(黙とうを捧げる子どもたち)

①危ない場所を予め知っておくこと

・マンホールがどこにあるか→冠水時は蓋が浮き上がってしまい、知らずに歩いていると落ちてしまうこと。

②逃げる場所を知ること

・災害が起こりそうになったらどこに逃げればよいのか、近くの公民館なのか学校なのか。これを機に家族できちんと確認をしておいてください。

③避難するときは、長そで、長ズボン、手袋、履き慣れたスニーカーなどが良いこと。(長靴は歩きにくいというえ、浮いてしまって逆にけがをしてしまう。)

④親と離れないようにしっかりと手をつなぐこと。(小さな弟や妹がいる場合は、手をつないであげてほしい。)

⑤きょう学んだことを、必ずお家の方にも伝えること。

実技では、いざという時の担架の作り方や命綱になるようなロープの結び方を教えていただきました。

夏休み期間中も大雨になる可能性は十分にあります。水かさが増えた川や用水路などには絶対に近づかないこと、不要不急の外出は控えることなど、基本的なこともご家族でも確認しておいてください。



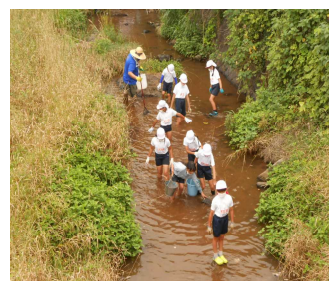
(物干し竿と毛布で担架作り)

◎4年生「水中生物調査」



今年度は佐賀県立宇宙科学館の中村安広さんのご指導で田古里川に行き、水を採取して、水質を調べたりそこに棲む生物の生態を調べたりしました。

水質調査の結果、田古里川の水は「ややきれい」と診断されました。



(田古里川での調査活動)

◎夏季休業中も基本的なコロナ対策をお願いします。

(佐賀県においても今のところ行動制限はないようですが)

基本的な感染対策である「3密の回避(こまめに換気をする、多くの人々が密集している場所を避ける、手を伸ばしたら届く距離での会話や発声をしない)」「人と人の距離の確保」「※マスクの着用」「手洗い等の手指衛生」等を徹底させてください。

※マスク着用については、運動時や屋内で他者と身体的距離がとれて会話をほとんど行わない場合、屋外でも他者との距離が確保できる場合、会話をほとんど行わない場合等は、マスク着用は必要ないとされています。特に夏場は熱中症予防の観点から外すことが推奨されています。

◎夏季休業中の緊急連絡先等について

※本日付で配付した教育委員会からのプリントを参照してください。

特に新型コロナウイルスに関して、本人または家族が感染した、濃厚接触者となった、PCR検査を受けることになった等の場合は、迅速な連絡をお願いします。また発熱等の症状が出た場合も必ず病院受診をし、かかりつけ医師の指示に従ってください。全国的な状況から、いつでもどこでも発生する可能性があることに鑑みて、私たち教職員も含め、危機意識を持って行動をとりたいと思います。

ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。